

産業廃棄物実態調査結果（平成19年度実績）について

平成19年度に岡山県内で発生した産業廃棄物の排出、処理状況等の実態を調査し、第2次岡山県廃棄物処理計画（平成18年度～平成22年度）の数値目標等との比較を行った。

1 調査方法

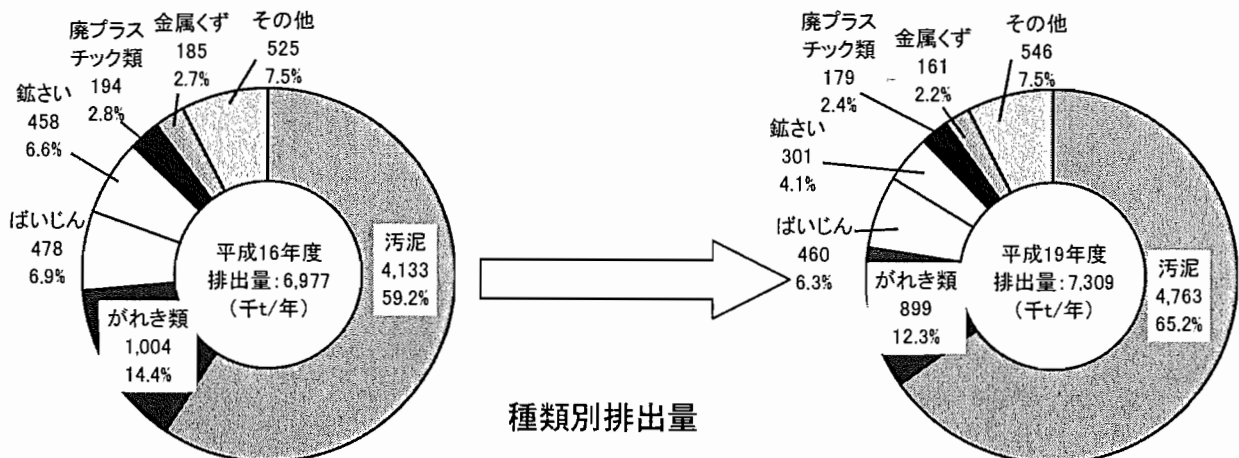
平成17年度に実施した産業廃棄物実態調査（平成16年度実績）を基に、産業廃棄物多量排出事業者からの処理計画及び実施状況報告、産業廃棄物処理業者からの処理実績報告等を用いて、平成19年度における岡山県内の産業廃棄物の排出量等を調査した。

2 調査結果

平成19年度に県内から排出された産業廃棄物は7,309千tであり、第2次岡山県廃棄物処理計画の基準年である平成16年度の6,977千tと比べると332千t増加した。

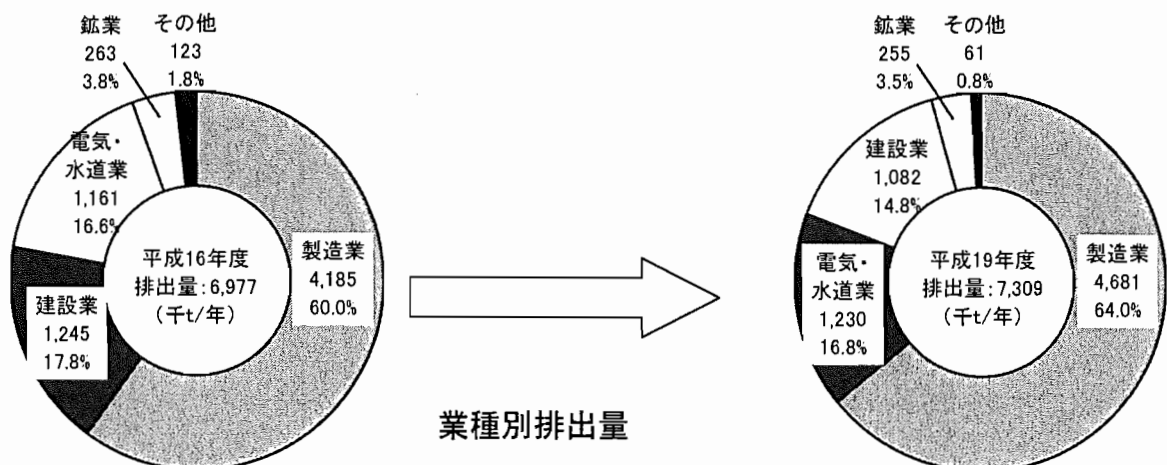
(1) 種類別排出状況

種類別の排出量は、汚泥が4,763千t（65.2%）と最も多く、次のがれき類が899千t（12.3%）と多い。



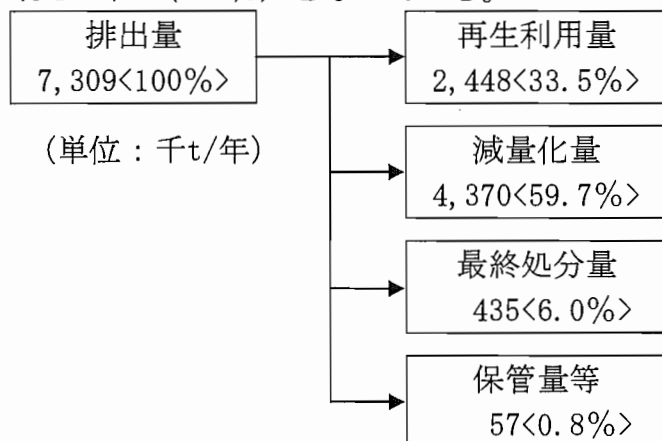
(2) 業種別排出状況

業種別では、製造業が4,681千tと全体の64.0%を占め、次に電気・水道業が1,230千t（16.8%）、建設業が1,082千t（14.8%）と多い。



(3) 処理状況

排出量7,309千tのうち再生利用されたものは2,448千t(33.5%)、脱水や焼却等の中間処理により減量化されたものは4,370千t(59.7%)、埋立により最終処分されたものは435千t(6.0%)となっている。



注：〈 〉内の数値は、排出量に対する割合

3 第2次岡山県廃棄物処理計画（平成18～22年度）の目標との比較

(単位：千t/年)

	平成16年度 (基準年) 実績	平成17年度 (参考) 実績	平成18年度 (参考) 実績	平成19年度 実績	平成22年度 目標
排出量	6,977	6,971	6,878	7,309	7,000
再生利用量	2,659 <38.1%>	2,660 <38.2%>	2,463 <35.8%>	2,448 <33.5%>	2,730 <39.0%>
減量化量	3,798 <54.4%>	3,809 <54.6%>	3,949 <57.4%>	4,370 <59.7%>	-
最終処分量	510 <7.3%>	501 <7.2%>	461 <6.7%>	435 <6.0%>	410 <5.9%>
保管量	10 <0.1%>	2 <0.0%>	5 <0.1%>	57 <0.8%>	-

注 〈 〉内の数値は、排出量に対する割合

(1) 排出量

平成19年度の排出量は7,309千tであり、計画基準年度である平成16年度(6,977千t)と比較すると4.8%増加しており、目標値(7,000千t)を4.4%超過した。今後、排出事業者である企業に対して、より一層、排出抑制の取組を働きかけていく。

(2) 再生利用量

平成19年度の再生利用量は2,448千t(33.5%)であり、平成22年度の目標の2,730千t(39.0%)を達成するため、今後、汚泥等再生利用率の低い産業廃棄物について、再生利用率の向上を図る必要がある。

(3) 最終処分量

平成19年度最終処分量は435千t(6.0%)であり、前年度より26千t減少した。今後、平成22年度の目標の410千t(5.9%)を達成するため、再生利用化・減量化をさらに促進する必要がある。